

事務事業名		気仙広域連合管理費負担金事務		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																								
政策体系	政策名	07 新たな時代を切り拓く行政経営の確立		事業期間																									
	施策名	24 広域・大学連携の推進		区分																									
	基本事業名	01 広域連携の推進		単年度繰返																									
根拠法令		地方公務員法第39条		※期間欄に開始年度を記入																									
所属	部課名	企画政策部企画調整課		【開始年度】																									
	課長名	阿部 貴俊		平成10 年度～																									
	係名	政策調整係	電話 0192-27-3111	事務事業区分																									
	担当者	朴澤 太一	内線 214			D 補助金等																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
大船渡市、陸前高田市及び住田町が共同で設置した気仙広域連合の事務運営に当たり、気仙広域連合規約の規定に基づき当市が負担すべき経費を負担金として支出する。当該負担金は、議会、一般管理、職員研修、選挙管理委員会及び監査委員に関する事務の財源に充てられる。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																										
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
		延べ業務時間																											
		人件費計(B)	0																										
		トータルコスト(A)+(B)	0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 気仙広域連合管理費負担金の支出	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 気仙広域連合管理費負担金の額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 気仙広域連合管理費負担金の額	千円	イ		ウ	
名称	単位								
ア 気仙広域連合管理費負担金の額	千円								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 気仙広域連合、市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 広域連合管理費負担金(大船渡市分)担当課</td> <td>課</td> </tr> <tr> <td>キ 人口(大船渡市民)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 広域連合管理費負担金(大船渡市分)担当課	課	キ 人口(大船渡市民)	人	ク	
名称	単位								
カ 広域連合管理費負担金(大船渡市分)担当課	課								
キ 人口(大船渡市民)	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 気仙広域連合を円滑に運営してもらうことで、市民が安定してサービスを受けられる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 負担金の納期内納付率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 市民一人当たりの負担額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 負担金の納期内納付率	%	シ 市民一人当たりの負担額	円	ス	
名称	単位								
サ 負担金の納期内納付率	%								
シ 市民一人当たりの負担額	円								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 効率的かつ円滑な気仙広域連合の運営による市民サービスの提供に資する。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	年度						
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	610	1,142	1,979	1,573	1,895	1,895
	事業費計(A)	千円	610	1,142	1,979	1,573	1,895	1,895
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1	1
	人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4	4
	トータルコスト(A)+(B)	千円	614	1,146	1,983	1,577	1,899	1,899
⑤活動指標	ア	千円	610	1,142	1,979	1,573	1,895	1,895
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	課	1	1	1	1	1	1
	キ	人	34,796	33,948	33,540	32,476	33,529	33,527
	ク							
⑦成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100
	シ	円	18	34	59	48	57	57
	ス							

事務事業ID	0341	事務事業名	気仙広域連合管理費負担金事務
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	気仙地域の広域行政体制が、昭和40年から続いた気仙地区広域市町村協議会から、平成11年3月に、気仙広域連合に移行したことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	厳しい財政状況を踏まえ、効率的な行政運営の観点から、広域行政の推進が一層求められており、今後の気仙広域連合の在り方について、広域振興課による検討が進められている。 気仙広域連合においては、平成22年度から正規の専任職員を削減している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	当事務による気仙広域連合への負担金支出に関して、市議会、住民等からの意見等はない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 当事務により、気仙広域連合の安定的な運営が図られることは、構成(気仙地域)3市町の連携推進による広域的な住民サービスの提供につながるものであり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 気仙広域連合規約第17条で、関係市町の負担金を規定している。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民が安定してサービスを受けられるよう、気仙広域連合の円滑な運営に資するため、負担金を支出しているものであり、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 負担金を納期内に支出し、安定した住民サービスが提供されているが、気仙広域連合の運営に支障が生じな範囲で、効果的な運営・経費節減が図られることで、負担金の削減につながる余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 当事務を廃止すると、気仙広域連合の運営が成り立たなくなり、住民サービスに影響が生じることから、廃止も休止もできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 大船渡市分の負担金を納付するもので、人件費以外に事業費(事務費)を要しない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 負担金の支払事務については、必要最小限の時間で処理しており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 気仙広域連合の構成市町の負担割合は、広域連合規約第17条で定められており、適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	気仙広域連合として構成3市町の連携により、現状どおり継続して事業を実施しつつ、可能な範囲で円滑な運営を図りながら、効率化による経費削減に努めてもらう
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	負担金を支出することにより、気仙広域連合の円滑な運営が図られるとともに、構成3市町の連携推進につながっている。